

けんぽだより

第 97 号
2021.4



令和3年度予算のお知らせ 皆さんの保健事業へのご協力もあり、経常黒字で予算を組みました！

2月19日に開催された第115回組合会において、令和3年度予算ならびに事業計画が可決されました。

一般勘定予算額は15億230万円。保険料率については、昨年に引き続き、**料率8.8%で据置**となりました。

【ご参考：令和2年度全健保組合平均料率 9.2%（負担割合：事業主 54.3%、被保険者 45.7%）、協会けんぽ平均料率 10%で事業主と被保険者で折半】

介護勘定予算額は約1億8,977万円。介護納付金額はマイナスの調整・精算が入った結果、前年度とほぼ変わらず約1.83億円となり、40歳以上の方が対象となる**介護保険料率は1.79%を維持**となりました。

<一般勘定の状況>

主な収入：皆さまと事業主からの保険料による収入は、前年度と同程度の約14億2800万円を見込みました。

主な支出：皆さまが病院などにかかったときの自己負担（2～3割）以外の健康保険組合が負担している医療費、また出産や傷病時の各種手当金等を含めた保険給付費については、令和3年度は約6億89000万円を計上しました。

高齢者医療費のための国への拠出金ですが、ネスレ健保は令和3年度は6.6%減と、今年度も昨年に続き減額で約5億3,230万円の計上となり、支出割合は33%となりました。【ご参考：全健保組合全体では前年度比3.6%増】

その他、各種健診・保健指導、予防接種費用補助にあてる保健事業費は、第2期データヘルス計画のレビューに基づき、予算は、前年とほぼ同額の約1億458万円を見込みました。

収入不足は別途積立金より約4,860万円の繰入を計上（前年度は8,7000万円繰入）収支の均衡を図りました。

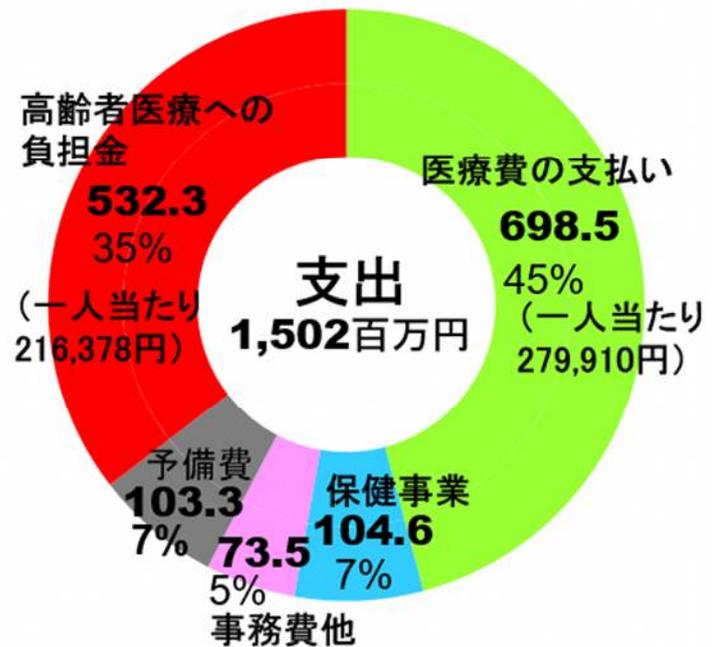
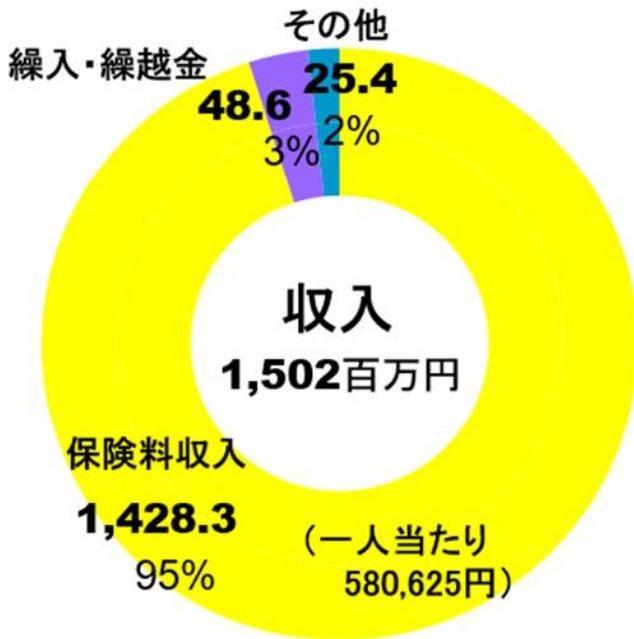
団塊の世代が後期高齢者となり始め、社会保障費が急増する「2022年危機」を目前にして、65歳以上の高齢者に対する納付金は今後さらに増大、令和3年度は健保組合の約8割にあたる1080組合は赤字での予算組み、健保組合平均の実質保険料率は初めて10%を超える見通しです。

ネスレ健保組合では、皆さまの疾病予防・健康増進をサポートする保健事業を効果的に展開し、引き続き給付費・納付金の削減へ向け、各種取り組みを行ってまいります。皆さまのご理解と積極的なご参加をお願いいたします。

健保事業詳細、また健康保険組合の個人情報の取り扱いについてなど、ネスレ健保ホームページもあわせてご確認ください。 <http://www.nestlekenpo.jp/>

ネスレ健保の2021年度収支予算

(単位:百万円)



介護勘定

収入	
科目	予算額
介護保険収入	1億 8,977 万 6 千円
繰越金	万円
繰入金	万円
雑収入	1 千円
収入合計	1億 8,977 万円 7 千円

支出	
科目	予算額
介護納付金	1億 8,299 万円 9 千円
介護保険料還付金	10 万円
積立金	千円
雑支出	1 千円
予備費	667 万円 7 千円
支出合計	1億 8,977 万円 7 千円

予算の基礎数値

一般勘定		
被保険者数	男	1,685 人
	女	775 人
	計	2,460 人
被扶養者数		2,488 人
平均標準報酬月額		414,328 円
保険料率	事業主	43.350/1000
	被保険者	43.350/1000
調整保険料率	事業主	0.650/1000
	被保険者	0.650/1000

介護勘定

第2号被保険者数	1,963 人	
第2号被保険者たる被保険者数	1,361 人	
平均標準報酬月額	476,251 円	
保険料率	事業主	8.95/1000
	被保険者	8.95/1000

令和3年度保健事業のご案内

社員の皆さんが心身ともに健康であることは仕事と生活を豊かにする土台と言えます。その土台づくりに、健康保険組合が提供する様々な保健事業を積極的にご活用してください。

健康増進・疾病の予防

- **健診事業**
ネスレドック、人間ドック、生活習慣病健診、法定健診、婦人科健診等ネットワーク健診を中心に健診プログラムを提供します
- **健康つうしんぼ**
健診結果を見える化した健康つうしんぼを希望者に配布、セミナーを実施します
- **運動プログラム**
春と秋のウォーキングイベントに加え、オンラインフィットネスプログラムも提供します
- **糖尿病重症化予防**
ハイリスク者を対象に血糖値の値をモニターしながらカウンセリングを行う新プログラムを実施します
- **特定保健指導**
40歳以上の被保険者および被扶養者を対象に生活習慣病予防を目的とする保健指導プログラムを内製と外部委託で複数実施し展開します。
- **歯科健診**
集団歯科健診・ネットワーク歯科健診を実施し、口腔衛生指導、受診勧奨を行います
- **健診結果フォロー**
ヘルスリスクでプライオリティをつけ産業医と会社と連携し二次受診勧奨、受診確認を行います
- **インフルエンザ予備接種補助**
被保険者および被扶養者を対象に費用の一部を補助します
- **常備薬斡旋**
家庭用常備薬等を斡旋(夏季・冬季)します。
- **メンタルヘルス**
ストレスチェックを実施、カウンセリング活用を促します
- **喫煙対策**
禁煙サポートを実施します
- **高齢者訪問健康相談**
60代半ば～74歳の被扶養者を対象に健康相談を実施します

保健のPR・情報提供

- **イントラネット/ワークプレイス/健保HPを利用**
加入者に役立つ健康保険に関する情報を提供します。予算・決算報告や保健情報をお知らせします
- **乳がん・子宮頸がん対策に婦人科健診受診促進**
のリーフレットを配布者を促進します
- **「育児冊子」の配布**
子育て支援として希望者に配布します
- **健康保険扶養状況調査実施**
保険料の適正利用を目的に法に沿って行います
- **柔整・あんま・鍼灸・マッサージの正しい利用を促進する案内**
- **医療費のお知らせ(年2回)**
毎月の医療費をお知らせします
- **ジェネリック医薬品利用促進**
ジェネリック希望シールの配布や先発医薬品をジェネリック医薬品に切り替えた場合の差額を対象者にお知らせします
- **新入社員に健康保険組合についての研修を行います**
- **健康・栄養に関するセミナー開催**
糖尿病・血圧・脂質等をテーマに行います
- **被保険者とのコミュニケーションにICTを活用します**

令和3年度健診事業概要

ネスレ健保の健診プログラムを活用し、年に1度の健診で、からだの状態をチェック、メンテナンスを欠かさないようにしましょう！ **予約は8月末まで、受診は10月末まで**となり、新型コロナウイルスの対策としてもまず年に1度の健診と結果内容確認、その後の対策はこれまでも増して重要となります。

健診後の結果レポートはしっかり目を通し、再検査や要治療と判定された場合は、必ず適切な医療機関に行き、必要な検査・治療をするようにしてください。

健診種別	ネットワーク健診システム				被扶養者スペシャル健診	特定健診
	定期健康診断	生活習慣病健診	ネスレドック 人間ドック	婦人科単独検診 (乳がん・子宮頸がん)	特定健診+がん検診 (含、婦人科)	
対象	被保険者		被保険者及び被扶養配偶者		被扶養者	被扶養者 (除、配偶者)
年齢 (2022年3月末日付)	35歳未満	35歳以上	35歳以上	全年齢	35歳以上	40歳以上
健診機関	ウェルネス・コミュニケーションズ提携機関(約800)				京都工場保健会 提携機関	健保連 契約健診機関

詳しくは・・・

ネットワーク健診システム → <http://www.nestlekenpo.jp/network/> 対象者には3月中旬にハガキ・封書が送られています。

被扶養者スペシャル健診 → 京都工場保健会より対象の方のご自宅に詳しい案内を4月下旬までにお送りします。

特定健診 → 健保組合より対象の方のご自宅に5月中旬ご案内・受診券をお送りします。

本年度も、新型コロナウイルス対策の影響を受け、医療機関では人数制限がかかり、年後半は健診が込み合う可能性が高いです。皆さんには個々の必要性和地域の感染と医療機関の状況をみながら、出来るだけ早いタイミングでの予約と受診をお願いします。



本年度は、個人の健診結果をビッグデータ分析し、同性・同年齢の中での各健診数値順位や経年変化の情報、現在と将来の脳卒中、心筋梗塞、糖尿病の発症確率がわかる「健康つうしんぼ」を35歳以上の被保険者希望者に提供しております。

内容をより理解するためのセミナーや、各自の健康対策に活用していただくための血糖測定セミナーなども順次開催していく予定です。

皆様のご参加をお待ちしております！